



札幌部会(第7回)

日時: 2013年5月18日(土) 14:30-17:00

場所: アスティ 45 ACU 1604 教室

参加者: 篠原(同志社大)、河原(立命館大)、濱地(道教大札幌校)、絹川(同志社大)、川瀬(札幌開成高)、松澤(札幌藻岩高)、佐藤(北海道江別高)、志田(北海道千歳北陽高)、中村(札幌光星高)、吉川(北海道登別明日中等)、奈良(藤女子中・高)、山下(札幌市立真駒内曙中)、兼間(札幌市立定山溪中)、清水(札幌市立平岡中央中)、高橋(札幌市立北辰中)、及川(札幌市立手稲東中)、結城(札幌市立藻岩中)、竹内(浦河町立浦河第一中学校)、古西(小平町立小平中)、井澗(美瑛町立美瑛中)、小林(日本銀行札幌支店)、川上(日本証券業協会)、山崎(北海道北見北斗高)

[順不同]

【内容要旨】

1. 初めて参加された先生や、新たに異動された先生もいることから、各参加者より自己紹介があった。
2. 篠原先生より、経済教育ネットワークの活動の経緯及び、各部会、ワークショップ稚内の報告があった。また、「夏休み経済教室のプログラム」の資料を用いて、各地における経済教室のPRが行われた。
3. 河原先生より、資料「ネタ・ゲーム・討論を通じて思考力・判断力を培う経済の授業」を用いて、これまで東大阪の中学校で取り組んでこられた授業開発の方法について講演があった。勤務されていた東大阪の中学校は教育困難校であり、教師が2分以上しゃべると聞いてくれない状況であって、最初の1、2年は授業崩壊をしていたそうである。そこで、改善のために、テンポの良い授業、どんな生徒でも活躍できる授業を心がけ、社会認識、経済認識、社会的なものの見方・考え方の育成をねらいに授業を開発してこられたとのことであった。ネタ発掘された授業として、ご自身の授業づくりのスタートだったという「キャラメル溝はなぜあるか？」の他、「グローバル化とドラえもん」、「関西国際空港は何市にあるのか」、「甲子園球場で販売されているビールは?」、「AKB48と経済学」、「なぜスカイツリーは価格が高いのか?」、「クーリングオフって何?」が紹介された。また、様々な学習形態を取り入れた活用探究型授業として、「橋下市政を公正と効率の観点から検証する」、「TPP参加の是非を問う」が紹介された。河原先生の授業づくりの特徴として、豊富な知識な経験をお持ちであるにもかかわらず、気になったネタの関連書籍を大量に購入して教材研究をしている点、実際に取材に出かけて教材研究をしている点が特記すべきことである。
河原先生の講演内容に関わって、篠原先生より、物事には色々な見方があり、正しいことは一つではないということ子どもたちに教えてもらいたいということが強調された。
4. 各先生より提案、報告があった。
 - ① 川瀬先生より、札幌部会の今後の活動内容について提案された。
 - ② 中村先生より、研究委託を受けた「消費者教育推進のための調査研究事業」の研究成果について説明があった。



- ③ 証券業協会より、8月1日～3日に行われる「授業に役立つ経済セミナー」のPRが行われた。
- ④ 金融広報委員会より、金融教育の手引き、各種教材等の紹介が行われた。
- ⑤ 佐藤先生より、「北海道高等学校政治・経済研究会第38回研究大会実施要項(案)」に基づいて8月6日に行われる道政研の大会についてPRが行われた。

(文責:北海道北見北斗高等学校 山崎 辰也)

次回開催予定: 9月14日(土)10:30~17:00(拡大版)。場所は北海道教育大学駅前サテライト教室1。
議題は、北海道らしい教材の交流、参加者からの活動報告、その他。